アーティスト・イン・レジデンスプログラム2019：
エクスチェンジ／ソウルダンスセンター

ユ・ジョン

Yoo Ji Young

京都芸術センターはソウルダンスセンターと連携し、双方のアーティストが2ヶ月間滞在制作を行うエクスチェンジプログラムを実施しています。3年目となる今年、京都芸術センターからはきたまりを派遣し、ソウルダンスセンターからはユ・ジョンを招聘します。ここでは4月から滞在するユを紹介します。

『Es muss sein!』2016

ユはこれまで、社会における身体の位置づけを解体することを試みてきました。身体のパーツを一旦切り離してそれを改めて組みなおしたり、異質な物を身体の一部のように扱うことで、身体に対する慣れ親しんだ認識とは違う見方を提示したりする作品を制作しています。『Questions about the Names of Body Parts』などの作品に見られる、身体の一部分を執拗に強調したり消し去る動きは、パーツそれぞれが意志を持ち始めた別の集合体を思わせ、末端への焦点が大きな蠢きへと翻る様が幻想的です。

そんなユが最近関心を寄せているのは、ダンス作品において「オリジナル」であるということです。観た者の記憶や衣装・小道具などは作品の証拠となり記録となり得るのか。またクリエーションを繰り返して生じる変化とズレとは何なのか。実験をしながら、腰を据えてリサーチしたいと語ります。

自国から離れた土地で、日常に追われず制作できるレジデンスプログラムは、一見制作と関係のない生活の部分から吸収したものが、作品へとつながることも少なくありません。大学院を修了したばかりのユにとって初めてのレジデンス経験でもある京都での生活は、彼女の新たな関心をどのように押し広げるのでしょうか。

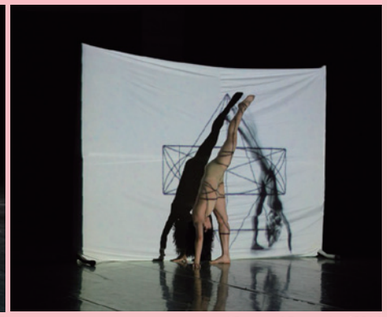
彼女の過去の作品映像を観ていると、洗練された動きの中にユーモアにがあり、愉快な気持ちになります。2ヶ月間傍で創作を見られるのが楽しみです。

遠山きなり（アートコーディネーター）

Profile

ユ・ジョン（Yoo Ji Young）
1994年ソウル生まれ。ダンサー、振付家。Korea National University of Artsにて修士課程修了。韓国各地のダンスフェスティバルに参加。ソウルストリートアートフェスティバル2018では公式プログラムとして招聘される。主な作品に『Questions about the Names of Body Parts』（2016）、『Body Building for the Head』（2018）など。

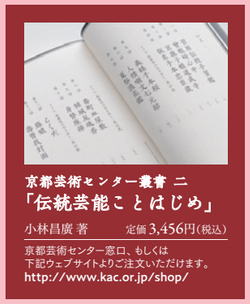
『Flesh』2017



『Canon of Proportion』2014

ユ・ジョン
「スパイラル・コンタクト・ワークショップ」
ユがソウルで毎週行っているコンタクト・インプロヴィゼーションのワークショップ。らせん運動を用いて身体の軸を整えます。
日時：4月24日（水）10:30－12:30
会場：制作室7
対象：ダンス経験のある方
※入場無料・要事前申込

各イベントの詳細・最新情報はウェブサイトでご確認いただけます。
公式ウェブサイト｜http://www.kac.or.jp
kyotoartcenter
@Kyoto_artcenter

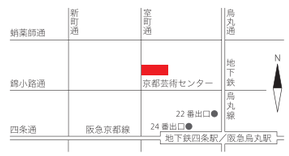


京都芸術センター　KYOTO ART CENTER

交通案内
- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅 22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間
- ギャラリー・図書室・情報コーナー・チケット窓口　10:00－20:00
- カフェ　10:00－21:30
- 制作室、事務室　10:00－22:00

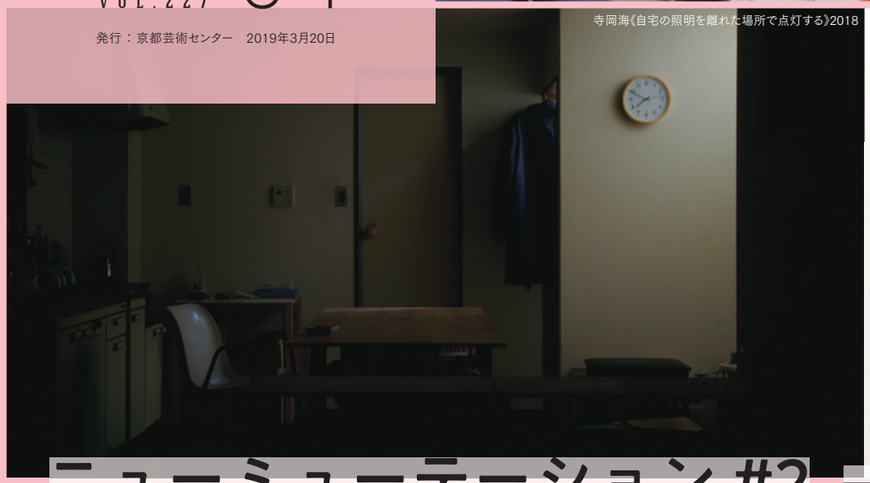
休館日　12月28日から1月4日
※設備点検のため臨時休館することがあります



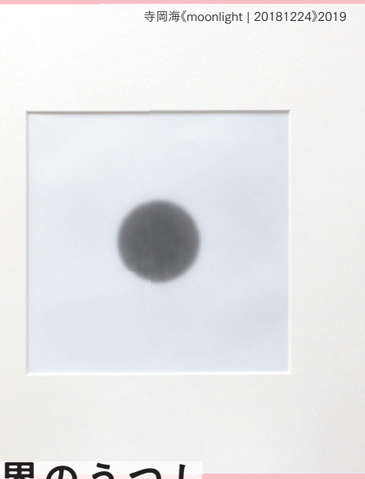
〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
TEL：075-213-1000　FAX：075-213-1004
E-mail：info@kac.or.jp
指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会

京都芸術センター通信
KYOTO ART CENTER 京都芸術センター
APRIL 2019
VOL.227
04
発行：京都芸術センター　2019年3月20日

小松千倫《Already Love》2019



寺岡海《自宅の照明を離れた場所で点灯する》2018



寺岡海《moonlight | 20181224》2019

ニューミューテーション #2 ―世界のうつし

“New Mutation #2 — A Capture of the World”

京都芸術センターでは昨年度より、関西圏を拠点に活動中の若手作家を取り上げるシリーズ「ニューミューテーション」を始動しました。第2回となる今回は、寺岡海、小松千倫の2名を紹介します。

私たちは、外的世界をありのままに感じ取ることができません。あまりにも膨大であるためにその一部分しか捉えることができなかったり、反対に微細にすぎるために多くを取りこぼしてしまったりします。一方で私たちが体験する内的世界はいつも秘められた一回的なものであり、生じては失われていくのをとどめることができません。私たちが経験するのは、世界のうつるさまざまな界面で生じる現実の数々です。ときにアーティストは、世界の思いがけない側面をうつしだし、私たちの世界認識を変容させるでしょう。

ひとつの雲を複数の地点から捉えた《雲を反対側から同時に撮影する／2011年9月13日12時15分》（2011）のように、寺岡の作品ではしばしば、自分の意識の及ばないところで確かに存在しているはずの（自分自身を含む）世界の姿へのアクセスが試みられています。自己と世界とがひとつづきの連綿へと還元されていくような、世界の全体性と因果律への言祝（ことほ）ぎの感覚をもたらします。

小松は、自身の身体やコミュニケーションにまつわる記憶をもとにしたインスタレーションなどを発表してきました。そこではモチーフの組み合わせが想像の契機となり展示室という公共的な場に私的な記憶の時空間を立ち上げます。自己の内面を他者の側へ投げわたすとき、それは否応なく断片化や静止を伴うでしょう。本展では映像プロジェクションをメインとした構成でアプローチします。

世界が変わらずに豊かなものであり続けるとしたら、それをどのように感知できるのでしょうか。誰もがそれぞれに別様の世界を生きるようになった現代において、他者との共在が可能になるのはどんなときでしょうか。それは私たちにとって最も素朴で切実な関心ごとのひとつです。今回紹介する2名による作品は、私たちの目にうつる世界を、ふたつの異なる角度から届けてくれることでしょう。

アート作品をみることが、地続きのリアリティへのまなざしと重なるようです。二人の若手作家による表現にどうぞご期待ください。

當間芽（アートコーディネーター）

Profile

寺岡 海（てらおか かい）
1987年広島県生まれ。グループ展に『未来の途中の、途中の部分』（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、2017）、『韓日芸術通信Part2 Cross Point』（韓国忠北文化館、2017）、個展に『世界と私のあいだ』（KUNST ARZT、2012、京都）、『Blanket and Dog』（Gallery PARC、京都、2015）、『A Wind』（KUNST ARZT、2017）があるほか、『描くこと｜平田猛 展』（art space co-jin、2019、京都）の企画をはじめキュレーション等も手掛ける。

小松 千倫（こまつ かずみち）
1992年高知県生まれ。音楽家、美術家。国内外でアルバム・EPをリリース、オンラインでの作品発表を行い、音響作品やインスタレーションを展開している。主な展覧会に『FAKEBOOK』（Workstation.、東京、2016）、『シンフォニーLDK』（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、2017）、『見立てと想像力 ― 千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ』展（元淳風小学校、京都、2017）、『Tips』（京都芸術センター、2018）など。

『ニューミューテーション #2 ― 世界のうつし』展
会期：2019年4月16日（火）－5月8日（水）
10:00－20:00
※入場無料、会期中無休
会場：ギャラリー北・南
出展：小松千倫、寺岡海

［関連企画］アーティスト・トーク
日時：4月20日（土）14:00－15:00
※入場無料、事前申込不要

EVENT CALENDAR 2019.4

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）
催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。
※友印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみご優待。共催事業はご優待対象外）
その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください
※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示

略称
日……日時　場……会場　席……席主　出……出演、出展
演……演目、曲目　料……料金　定……定員　主……主催
問……問合せ　対……対象　持……持物

アイコン
美術　伝統　茶会　音楽　ダンス　演劇
トークイベント　ライブラリー　明倫ワークショップ
KACセレクション（共催事業）　制作支援事業

2/19 tue. ～ 3/31 sun.
KAC Curatorial Research Program vol.01 『逡巡のための風景』
日2月19日（火）－3月31日（日）10:00－20:00 ※会期中無休・入場無料 場ギャラリー北・南 ほか 出イシワタマリ、大見新村プロジェクト、八幡亜樹 ●ゲストキュレーター：青木彬（インディペンデント・キュレーター）

3/23 sat.
演劇計画 II －戯曲創作－「S/F－到来しない未来」KAC S/F Lab.オープンラボvol.7「科学と虚構」
3ヶ年かけて執筆した戯曲を、批評やワークショップを通して多角的に捉え、その魅力と可能性を語ります。
日3月23日（土）14:00－18:00 場フリースペース ●登壇：松原俊太郎、山本健介（委嘱劇作家）、佐々木敦（批評家）、篠田千明（演出家・作家）、松葉祥一（哲学研究者）、森山直人（批評家） 料無料（要事前申込）

3/26 tue.
KAC Performing Arts Program 2018 / Contemporary Dance ダンスを語る言葉：「おもしろい！ダンス映像を観て語る会」vol.2
日3月26日（火）19:30－21:00 場ミーティングルーム2 ●ゲスト：塚原悠也（contact Gonzo） ●聞き手：米澤百奈、池上たっくん 料無料 定30名（先着順／要事前申込）

3/28 thu.
みみききプログラム #2 素謡の会「うたいろあはせ」第3回友
劇団「地点」とのコラボレーション。演劇の声と、能楽の声を聞き比べます。この会だけの実験的な試みをお楽しみいただきます！
日3月28日（木）受付18:00 開場18:30 開演19:00 場大広間（待合：講堂） 演素謡『車僧』、地点『だれか、来る』より（作：ヨン・フォッセ）ほか 出浦田保親、大江信行、田茂井廣道、深野貴彦 ●ゲスト：劇団「地点」 料前売1,500円／当日1,800円
※みみききプログラム共通の半券割引が利用できます
※地点の演目が変更になりました

3/30 sat.
みる、描く（えが）―デッサン体験教室
日3月30日（土）14:00－16:00 場ミーティングルーム2 ●講師：芝田友司 ※定員に達したため、受付は終了しました

PICK UP 明倫ワークショップ 春まつり

4/12 fri. ～ 14 sun.
4月12日（金）－14日（日）の3日間、制作室使用者のワークショップを集結して開催します。はしご参加も大歓迎です！
料無料（要事前申込）
※ダンスワークショップには飲み物・タオル持参。動きやすい服装でお越しください

4月12日（金）

桂 勘（かつらかん）「1メートルを1分で歩いてみませんか？」
雰囲気を運ぶことそのものが「ダンスである」という西洋のダンスとは異なるカテゴリーの技術。超スローで歩くとき何が起こるでしょう？
日10:30－12:00 場フリースペース 定20名

THE ROB CARLTON「芝居でコミュニケーション2」
舞台の稽古場などでウォーミングアップに用いられる、簡単なゲームを通じて参加者と仲良くなり、最後に皆で短い芝居を作り上げます。
日13:00－14:30 場フリースペース 定10名

MuDA「ムーダ整体と運動」
捻挫回復法、循環運動等の自己整体術を伝授。骨の歪みによる痛み、痺れ、違和感等への手技療法を行います。
日15:00－16:30 場フリースペース 定15名

ANTIBODIES Collective「身体開発講座―自由度のあるカラダと精神を構築しよう！」
身体の持つ潜在的な可能性を引き出すために、さまざまな方法でカラダとココロを繋げ、動きを発見していきます。
日17:00－18:30 場フリースペース 定20名

トランク企画「インプロワークショップ―“考えない”を探検する！」
インプロ（即興演劇）では目の前に起こる瞬間瞬間を大切にします。無意識に頭で作っている枠をはずして、目の前の思いがけない自分や興味深い相手に出会ってみましょう。
日19:00－21:00 場制作室9 定12名

トランク企画

4月13日（土）

畠中光享「オープンアトリエ」
本物のアーティストの輩出を目指した大作公募展『風』のための制作をしています。素材や技法など古典的なものから現代につなげることを目指しています。
日12:00－15:00 場制作室4 ※入退場自由

nidone.works「スーパー・ハピエスト・プリン！」
プリンをあげる動物・もらう動物。この2匹の会話を参加者それぞれで書きかえて、ミニチュアの劇として上演してみます。
日13:00－14:30 場制作室5 定15名 対小学生以上

中野劇団「『笑わせる』ことにちょっと向き合ってみる」
笑いを主体とした劇団です。寸劇（コント）を取り入れたワークショップをします。
日15:00－16:30 場フリースペース 定15名

Monochrome Circus「ふれることから」
視覚や聴覚の影に隠れがちな知覚に焦点を当てることで普段は意識化されていない感覚を開いていきます。コンタクト・インプロヴィゼーション入門編。
日17:00－18:30 場フリースペース 定20名

4月14日（日）

セレノグラフィカ「春の身体のチャージ法」
冬の寒さでこわばった身体やさまざまな情報を溜めこんでいる身体をゆっくりほぐし、リセットしましょう。
日その①10:30－12:00／その②13:00－14:30 ※どちらかのみの参加も可
場フリースペース 定10名

4/13 sat.
伝統芸能文化創生プロジェクト「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」に係る説明会
本プログラムの趣旨についての説明と、応募を検討している方を対象とした相談や申請書の書き方等についてアドバイスをします。
日4月13日（土）14:00 ※全体説明の後、個別相談会を行います 場講堂 料無料（要事前申込）※3日前までに要予約。また、個別相談を希望される方は、その旨をご連絡ください。主問伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス（京都市、京都芸術センター） TEL：075-255-9600 E-mail：taro@kac.or.jp

4/14 sun.
講演会「日本美のすばらしさ・友禅染－『友禅ひいなかた』にみる革新性－」
日本の染織史研究の第一人者である切畑健氏。江戸時代に出版された着物柄の見本帳『友禅ひいなかた』を読み解きながら、友禅染の魅力、その革新性に迫ります。
日4月14日（日）13:00－16:15（休憩14:30－14:45） 場講堂 ●講師：切畑健 料無料（要事前申込）

4/16 tue. ～ 5/8 wed.
『ニューミューテーション #2―世界のうつし』展
関西を拠点に活動する若手作家を紹介する展覧会第2弾。
日4月16日（火）－5月8日（水）10:00－20:00 ※会期中無休・入場無料
場ギャラリー北・南 出小松千倫、寺岡海 ※表面もご覧ください

[関連企画]アーティスト・トーク
日4月20日（土）14:00－15:00 ※入場無料、事前申込不要

4/19 fri. ～ 5/6 mon.
京都国際ダンスワークショップフェスティバル2019
世界各地からダンサー・振付家を招いて開催するワークショップフェスティバル。B1・B2は未経験者にもおすすめです！
日[B1][B2] 4月19日（金）－21日（日）／[A1] 4月22日（月）－25日（木）
●講師：[B1]坂本公成+森裕子 [B2]柿崎麻莉子 [A1]キャンディス・マルテル 料[B1][A1]1回3,000円ほか [B2]1回2,500円ほか
定各20－30名（先着順／要事前申込）
※上記ほか10クラス開催。詳細・申込はウェブサイトから。

4/24 wed.
アーティスト・イン・レジデンスプログラム2019：エクスチェンジ / ソウルダンスセンター ユ・ジョン「スパイラル・コンタクト・ワークショップ」
日4月24日（水）10:30－12:30 場制作室7 料無料 対ダンス経験のある方 定15名（要事前申込）※裏面もご覧ください

図書室休業日：4月26日（金）

制作支援事業

トランク企画『ある女の物語』
ダンス・音楽・独白。真ん中の年代である女3人が即興で、ある女の物語と出会います。
日4月4日（木）19:30、5日（金）19:30 場White Cloud Kyoto（中京区）
料一般前売2,000円／当日2,200円、学生1,500円（前売・当日共） 主問トランク企画 TEL：090-5964-2210（木村） E-mail：trunkkikaku@yahoo.co.jp

宙宙『the crossing－空間と空間が交差する』
空間と視覚についての実験的な展示です。
日3月26日（火）－4月7日（日）15:00－19:00 ※最終日は18:00まで、月曜休
場Art Spot Korin（東山区） 料無料 主宙宙 問TEL：075-746-3985（Art Spot Korin） E-mail：kaburagi1a@gmail.com

広田ゆうみ＋二口大学　別役実『クランボンは笑った』
月夜、病院の裏庭に佇む女と男。やさしく残酷な世界を描く、別役実の二人芝居です。
日4月12日（金）19:30、13日（土）15:00／19:00 場人間座スタジオ（左京区）
料一般2,500円／U22 1,500円（前売・当日共） 主問広田ゆうみ＋二口大学 TEL：090-3039-9894（二口（ふたくち）） E-mail：hirotafutakuchi@gmail.com

TICKET ［チケット］

第254回市民狂言会
日6月7日（金）開場18:30 開演19:00 場京都観世会館（左京区） 演舟船、惣八、梟、塗師 出茂山千作、七五三、あきら、千五郎 ほか 料前売2,500円／当日3,000円 ●チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、高島屋京都店、チケットぴあ（Pコード：492-597） ※年間席札（限定120枚）、団体券2,200円（20名以上）は京都芸術センターにて取扱 ※4月1日（月）より販売 主京都市

OPEN CALL ［募集］

第40期制作室使用者募集
若手芸術家の活発な創作活動を支援するため、造形及び舞台・音楽作品の制作を行う「制作室」（全12室）を提供します。
●使用期間：2019年10月1日（火）－2020年3月31日（火） 料無料 ●条件：1申請につき使用期間は最大3ヵ月／制作した作品を京都芸術センター以外の場で発表する具体的な計画があること等 ●締切：3月31日（日）〔必着〕

京都国際ダンスワークショップフェスティバル 2019 受講者募集
国際的に活躍する振付家、ダンサーらを講師として招聘。ビギナーからプロのダンサーまで様々なレベルのクラスを設けたワークショップ、受講者以外にもオープンなプログラムを開催します。
日4月19日（金）－5月6日（月・祝） 場講堂 ほか ※各クラスの詳細と日程、料金については、京都芸術センターのウェブサイトをご覧ください

トラディショナル・シアター・トレーニング（T.T.T.）2019 受講生募集
舞台芸術に携わる方を対象とした3週間の伝統芸能トレーニング。
日7月17日（水）－8月10日（土） ●応募条件：演劇・ダンスなど、舞台芸術に関わる表現活動もしくは研究活動を行っていること等。定24名（能・狂言・日本舞踊 各コース8名程度） 料一般90,000円ほか ●締切：4月30日（火）〔必着〕
※随時選考を行い、応募者全員に郵送またはメールで通知。定員に達し次第締切日を待たず受付を終了する場合があります。

伝統芸能文化創生プロジェクト「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」
伝統芸能文化（古典芸能、民俗芸能、およびそれらに係る楽器・用具用品、材料や伝統工芸技術等）において支援を必要とするプログラムを公募。採択された取り組みを、伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィスと共同で実施します。
●募集する事業：①伝統芸能文化の保存、継承、普及、活用のために必要な取組 ②継承に関して緊急性・必要性が高く、関係機関の協力が必要な取組 ●締切：5月21日（火）17時〔必着〕※詳細は募集案内又はウェブサイト（http://www.traditional-arts.org）をご確認ください。説明会については左イベント欄をご覧ください。主問伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス（京都市、京都芸術センター） TEL：075-255-9600 E-mail：taro@kac.or.jp

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019 事務局インターンシップ募集
京都発の国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」の運営事務局でのインターンシップを募集します。
●研修期間：2019年6月－11月 ●研修コース：A.事務局運営コース B.舞台技術コース C.広報宣伝コース ●応募方法：公式ウェブサイト（https://www.kyoto-ex.jp）をご確認の上ご応募ください ●締切：5月7日（火）〔必着〕 問KYOTO EXPERIMENT事務局 TEL：075-213-5839（受付時間：平日11:00－17:00） E-mail：info@kyoto-ex.jp

アーティスト・イン・レジデンスプログラム2020 パフォーミング・アーツ部門募集
●滞在期間：2020年4月1日（水）－2021年3月31日（水）（3ヶ月以内）●支援内容：滞在期間中（3ヶ月以内）の宿泊場所、制作場所、居住地から関西国際空港または大阪国際空港までの往復航空券の提供、制作費として1件につき（個人・グループ問わず）10万円（内税）の補助、広報協力、アートコーディネーターによるサポート。●応募受付期間：4月1日（月）－6月30日（日）〔必着〕

募集要項および応募用紙は、同センターにて配布中。ウェブサイトからもダウンロード可。●応募方法：応募用紙に必要事項を記入の上、必要書類とともに京都芸術センターまで送付または持参（持参の場合は締切日の20時まで）。